



京都大学技術士会 会長就任あいさつ

京都大学技術士会 会長
松江工業高等専門学校長

大津 宏康



京都大学技術士会会長に就任するにあたり会員の皆様にご挨拶を申し上げます。

まずは、京都大学技術士会（以下、本技術士会）の立ち上げから発足後 8 年に至るまでの活動に関して一貫して主導的な立場でご尽力いただきました、前会長の大西有三先生（京都大学名誉教授）に感謝申し上げます。大西先生におかれましては、今後本技術士会の特別顧問に就任頂きますが、大所高所からのご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。また、本技術士会は多くの会員方々のご尽力により今日を迎えていることは言うまでもありません。この場を借りてあらためて本技術士会の活動を支えていただいた会員の皆様に御礼申し上げます。

さて、本技術士会は、京都大学同窓会における、部局同窓会と同等の構成メンバーと位置付けられており、会員数 762 名（2020 年 10 月 30 日時点）は京都大学同窓会の中で最大人数の組織となっています。なお、会員数につきましては当初設定した「目指せ 1,000 人」という目標を未だ達成できていません。これまでの会員数推移のグラフを見ると、

当初から 5 年は目標値とほぼ同じ勾配で増加してきましたが、それ以降は増加の勾配が徐々に緩やかになり、現状ではほぼ一定状態になりつつあるように見えます。

この会員数増の状況は、新規路線の交通機関（鉄道・有料道路等）の乗客数の推移に極めて類似していると考えております。新規路線における乗客数の推移は、時系列的にフェーズ 1～フェーズ 3 からなると分析されます。すなわち、フェーズ 1 およびフェーズ 2 は、それぞれ新規路線の認知度が高まるにつれて利用者が増加する段階、および沿線での土地利用水準での利用者が飽和状態となり、その数がほぼ一定になる段階に相当します。そして、フェーズ 3 は、その路線域に住宅・工場団地が整備される、あるいは他の交通ネットワークと連結する等のエポックメイキングな顧客ニーズを高める条件変化により利用数が再度増加する段階に相当します。このようなアナロジーから、現状での技術士会の会員数は発足から 8 年でフェーズ 2 に移行しつつあると解釈されるのではないのでしょうか。したがって、「目指せ 1,000 人」を達成するには、フェーズ 3 に移行するためのエポックメイキングな顧客ニーズを高める条件変化が必要となるでしょう。

現在、本技術士会は中長期ロードマップを改定中です。まさに、フェーズ 3 に移行するための方策を探っているといえるでしょう。新会長として、会員の皆様のご協力を得て、フェーズ 3 に移行できる条件の抽出・把握、およびその実現に向けて尽力する所存ですので、よろしくご協力申し上げます。

副会長就任あいさつ①

京都大学
大学院工学研究科長・工学部長

樫木 哲夫



京都大学の工学は、ときとして「良質のプラグマティズムに支えられた実証的科学としての工学」としても表現されます。プラグマティズムとは一言でいうと、効果や結果を重視する考え方で「実用主義」です。京都大学の工学では、この実用主義を拘束条件として、実験的研究と数学的解析を結合して得られる知識を扱う基礎研究と、体系的知識に基づく論理的な設計能力（実践化能力）を発揮する応用研究の二つを両輪としています。実は工学が学術分野として発展を始めたのは世界の中でも日本だけがもつ特徴なのです。engineeringを「工学」と訳出したことで、我が国では学術としての位置付けが明確になり、工学部は他国に先駆けて大学のなかで主要な地位を占めることができました。工学を学術分野として成立させた最大の理由は、《科学と技術》の橋渡しを担える人材の育成をミッションとしたからにはほかなりません。現象の個別的な理解から、数理的普遍性を追究し、そして役に立つ機能を実現するための構成原理の解明（設計論）まで言及するのが工学です。そして技術士は、「科学技術に関する高度な知識と応用能力が認められ、かつ科学技術の応用面に携わる技術者」とされています。このことから、技術士を抜きにして我が国の工学を論じることはできず、工学での学びをより高い段階に昇華させるのが技術士であるとも言えるでしょう。社会・産業界のニーズに応えられ、世界的に通用する優れた技術者集団が、教育界と産業界との対話を通じて我が国で構築拡大されていくことを期待してやみません。

副会長就任あいさつ②

京都大学
工学研究科 教授

高橋 良和



この度、副会長を仰せつかりました、平成6年工学部土木工学科卒業、平成8年工学研究科土木工学専攻修了の高橋良和です。現在、工学研究科社会基盤工学専攻で構造ダイナミクス研究室を担任しております。

私は大学院修了以来、ずっと大学で学理を追求してきたため、博士にはなれましたが、技術士ではありません。そのような人間が、何故本会に関わることになったかといいますと、工学の人間として、技術を実社会、産業界に応用できる技術者に憧れの念を抱いていたからです。特に、高い技術的専門知識や思考、また創造的活用によって、困難な問題に対して実行可能解を見つける能力とともに高い技術者倫理を兼ね備えると認定された技術士は、私にとって羨む存在です。技術士たり得る人材を輩出すべき大学人として、平成30年度より本会幹事を務めさせていただきました。

本会に関わることにより、私が普段交流することが多い建設部門以外の技術士と交流する機会が増えました。京都大学技術士会は、京都大学の学位に加え、技術者としての最高の資格を有する同窓が集い、交流する場であります。大学人として、本会の発展に貢献すべく努力して参りますので、皆様もよろしくお願いたします。

代表幹事 就任に際して 「技術者の交流そして成長の場を 目指します」

京都大学技術士会
代表幹事



樋口 義弘

2021年度より第5代副会長兼代表幹事を務めることとなりました。宜しくお願ひ致します。

まずは自己紹介させて下さい。1984年に京都大学大学院工学研究科交通土木専攻を修了後、清水建設に入社後 LNG 貯蔵施設等の設計に携わり、2007年からは発電所建設の土建 EM として現場を経験、2011年に本社に戻り福島第1原子力発電所事故からの復旧・復興などに取組みました。

本社に戻る際、「震災被害や原発事故により国民の工学に対する信頼が失われた。君は東京に戻って信頼回復のために働け」という上司の言葉がその後の原動力になっており、技術者としての継続的な成長が信頼回復に貢献するための必要条件と考えています。

当会は2013年に設立され、今年で9年目を迎えることができました。762名（2020年10月30日時点）の様々な専門分野、世代の技術士が登録されており、この多様性が当会の強みと考えております。

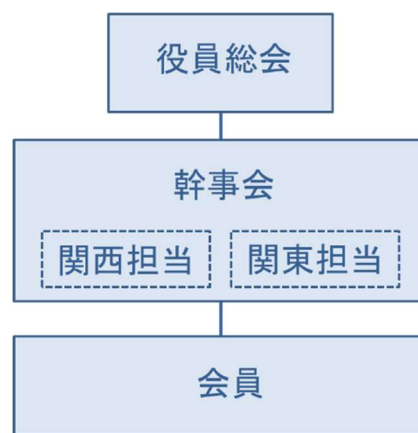
様々な分野の専門家を講師とした講演会、イベントセミナーなどの会員サービスや、技術士を目指される方への説明会などを行っておりますが、今後も多様な交流やサービス拡充により、会員数増加とともに会員はもちろん在学・卒業生の継続的な成長にお役に立てればと考えております。

今後ともご支援をお願い致します。なお、当会は「幹事会」で運営しております。我はと思われの方は是非ご参加ください。

新体制の紹介

京都大学技術士会の2021年度運営体制は下図のとおりです。

表-1と表-2は2021年度の役員と幹事メンバーです。大学は●、関西は●で示します。その他は関東です。



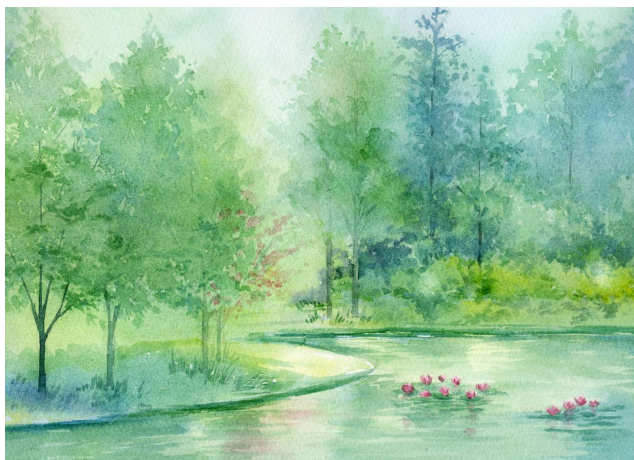
●: 大学
●: 関西

表-1 2021年度役員

名誉顧問	大西 有三 ●	
会長	大津 宏康 ●	会務総理
副会長	榎木 哲夫 ● (工学研究科長)	大学総括
副会長	高橋 良和 ●	大学総括
副会長 (兼代表幹事)	樋口 義弘	会務執行総括
副会長 (兼副代表幹事)	田岡 直規 ●	関西地区総括
監事	武山 正人 ●	
参与	高宮 脩武	
参与	林 克己	
参与	武藤 光	
参与	綾木 光弘 ●	
参与	石原 吉雄	

表-2 2021年度幹事

代表幹事	会務執行総括	樋口 義弘	
副代表幹事	関西地区総括	田岡 直規●	
副代表幹事	関西地区	山崎 洋右●	
副代表幹事	関東地区	佐竹 孝	
副代表幹事	関東地区	嶋田 弘僧	
副代表幹事	関東地区	新原 雄二	
副代表幹事	関東地区	今西 秀公	
副代表幹事	関東地区	下村 泰造	
副代表幹事補佐	関西地区	宮嶋 直樹●	
副代表幹事補佐	関西地区	佐伯 賢一●	
幹事	辻井 修	幹事	大坪 利行●
幹事	新宮 康之	幹事	森下 滋●
幹事	栗本 卓	幹事	久保田 正博●
幹事	築地 功	幹事	上田 泰史●
幹事	龍原 毅	幹事	千田 琢●
幹事	川崎 芳樹	幹事	狩野 陽●
幹事	今井 健司	幹事	有野 剛史●
幹事	近藤 一寿	幹事	仲矢 順子●
幹事	坂井 健介	幹事	中野 信一●
幹事	岩住 知一●	幹事	辻 浩樹●
幹事	中井 範一●	幹事	田邊 陽一●



広報活動

～ホームページ刷新～

本会では、公式ホームページと公式 Facebook アカウントを開設しております。会員登録や行事申込み、会への連絡なども、ホームページから簡単にできるようになっております。また、本学同窓会ホームページとも連携をしています。是非ご覧ください。

【京都大学技術士会 公式ホームページ】

<http://ku-pe.net/>



2021年3月23日をもって本会の公式ホームページを大幅に刷新いたしました。京都大学のスクールカラーである「濃青」をふんだんに盛り込み、「締まった」デザインとなるよう心がけました。

公式ホームページでは、活動報告や講演会・「技術士を目指そう」をはじめとする行事案内、会報バックナンバーのほか、入会案内、会則、役員・幹事一覧なども掲載し、会員・非会員の区別なく本会の最新情報を提供させていただきます。

また、従来に比べて更新頻度を増すことで、リアルタイムの情報提供に努めてまいります。

今後はホームページのさらなる内容充実を計画しておりますのでご期待ください。

【京都大学技術士会 公式 Facebook】

<https://www.facebook.com/KyodaiPE/>



【京都大学同窓会サイト内の京大技術士会ページ】

<http://hp.alumni.kyoto-u.ac.jp/about/compete/domestic/024.html>



特別講演会

京都大学技術士会 第8回大会・特別講演会が開催されました。(2020年11月7日)

第15回京都大学ホームカミングデイ開催に伴い京都大学技術士会第8回大会・特別講演会が百周年時計台記念館国際交流ホールⅠ・ⅡとZoomによるサテライト東京会場の機械振興会館で開催されました。

京都大学技術士会は、技術士法に制定された技術士資格を有する本学卒業(修了)生および教職員で構成され、会員数は762名(2020年10月末時点)です。この行事は本会の主要行事である会員の継続研鑽と会員相互交流を目的に開催されています。今回は、68名の参加がありました。

講演会に先立ち、大西有三 会長(工学部1968年卒)の挨拶で、京都大学同窓会の一つとして最大会員の組織として公認されていることのご紹介がありました。

引き続き、石原吉雄代表幹事(工学研究科1988年修了)から活動報告として、2019年度の事業・決算報告と2020年度の事業・予算報告、および、活動内容の説明がありました。

次に、講演として副会長の嶋正裕 工学研究科長・工学部長(工学部1981年卒業)から、『超臨界流体に操られ踊らされた研究』と題してご講演頂きました。様々な『泡』、泡とビール、超臨界流体の特長を生かす技術・製品についてご説明頂きました。

特別講演は、副会長の津宏康 松江工業高等専門学校 校長(工学研究科1981年修了)から、『気候変動下における高強度降雨に伴う土砂災害発生メカニズムとその対応策について』をご講演頂きました。ゲリラ豪雨に対する斜面防災について、原位置計測事例の報告例がなかったこと背景から、タイにおいて得られた知見を日本へ還元され、斜面崩壊の発生メカニズムにつき現地での状況調査を理論的に解析し、土砂災害リスクマネジメントに活用

することにつきご説明頂きました。

次に、来年3月に当会会長を退任される、大西有三 会長に対し感謝のタペとして、上田泰史幹事（農学研究科・1983年修了）が所属する香久夜（マンドリン・ギターアンサンブル）の演奏と大坪利行幹事（工学研究科・1978年修了）のトランペット演奏が披露された後、「仰げば尊し」の演奏とともに花束贈呈があり、参加者一同、これまでの当会の立ち上げ・発展に寄与されてきたことへの感謝の意を表しました。最後に、田岡直規 副代表幹事（工学研究科・1983年修了）から閉会挨拶があり、参加者で写真撮影を行いました。



大津 副会長



特別講演会参加者記念写真

第19回「技術士を目指そう」説明会

2020年11月7日(土)、第15回ホームカミングデーの日の午前10時から、百周年時計台記念館2階会議室Ⅲにおいて京都大学技術士会第19回「技術士を目指そう」説明会が開催され、現役学生、社会人などあわせて10名の参加がありました。今回は新型コロナウイルス対応のためZOOMを使ったオンラインでも実施し、9名の方がZOOMで参加されました。

同会の綾木光弘 幹事(農学研究科・1978年修了)の司会進行の下、はじめに石原吉雄 代表幹事(当会の代表幹事、衛生工学科・1988年修了)から挨拶があり説明会が開始されました。

最初に上田泰史 幹事(農学研究科・1983年修了)から「国家資格『技術士』について」と題して、技術士制度の概要・主旨から資格の法的・社会的位置づけ、効用、求められる資質や能力についての説明がありました。

続いて「技術士による体験談」として、建設部門、森林部門の仲矢順子 幹事(農学研究科・1994年修了)〈現住友林業〉、衛生工学部門(空調)、総合技術監理部門の田邊陽一 幹事(航空工学科・1980年学了)〈現大和ハウス研究所〉、機械部門の狩野陽幹事(金属加工学科・1987年学了)〈現三菱電線工業〉の3名の先輩技術士により、それぞれの専門分野での個人的体験に基づいた説明が行われました。具体的な2次試験内容などの説明、企業内技術士の立場での技術士として、技術士資格を取得することで社内他部署や社外での交流・活躍の機会が増えること、それぞれにとっての技術士資格取得の意義が紹介されました。

この後は個別相談会として、技術士資格や受験に関する疑問点など、説明会参加者と既技術士である会員との間で質疑応答が交わされました。



仲矢幹事 (ZOOM左上)



狩野幹事

第20回「技術士を目指そう」説明会

「技術士を目指そう第20回説明会」を開催しました。(2021年2月27日)

京都大学技術士会主催の「技術士を目指そう第20回説明会」が開催され、技術士の受験を考えている京都大学の卒業生8名が参加しました。本説明会は当会の主要事業の一つである本学の学生、職員、卒業生に対する技術士資格の取得支援を目的に定期的に開催しているものです。例年、本説明会は機械振興会館で開催しておりましたが、コロナ禍による非常事態宣言を受けて、今年は受講者、講師全員がZoomによるオンライン形式での開催となりました。

第1部では、技術士制度の説明に続き、大坪利行氏(工学研究科、1978年修了、経営工学部門、当会幹事)、松井理恵(地球環境学舎、2004年修了、建設部門・環境部門・総合技術監理部門、当会幹事)、竹内将人氏(エネルギー科学研究科、2004年修了、化学部門)の各分野で活躍する卒業生技術士3名より、それぞれの体験を交えた技術士資格取得のメリットに関する講演を行いました。続いて試験制度の説明と京都大学技術士会の活動状況の説明がありました。

また第2部として、参加者が取得希望部門別のセッションに分かれて、部門別相談会が実施されました。

今回初めて、「技術士を目指そう説明会」をオンラインのみで開催いたしました。参加された皆様から高評価をいただき、今年の説明会を無事終えることができました。



第21回「技術士を目指そう」説明会

「第21回技術士を目指そう説明会」を開催しました(2021年4月23日)。

京都大学大学院工学研究科主催、京都大学技術士会共催の「第21回技術士を目指そう説明会」がZoom

を用いたオンラインのみで開催され、講師11名、技術士の受験を考えている京都大学の学生さんや卒業生合計27名が参加しました。本説明会は2月の東京での開催に続き、例年京都大学で開催しているものですが、コロナ感染の拡大に伴い、大学が開催の3日前に「新型コロナウイルス感染拡大防止対応レベルの引き上げ」を行い、急遽オンラインのみでの開催に変更となりました。

第1部では、綾木光弘 幹事(農学研究科・1978年修了)の司会進行の下、京都大学工学研究科の高橋良和 教授(工学研究科1996年修了)の開会挨拶のあと、田岡直規 副代表幹事(工学研究科1983年修了)による京大技術士会の紹介、上田泰史 幹事(農学研究科1983年修了)による技術士制度の概要の説明がありました。これに続き、中井範一幹事(衛生工学部門)、山崎洋右幹事(機械部門)、久保田正博幹事(化学・総合技術監理部門)、岩住知一幹事(建設部門)の各分野で活躍する4名より、それぞれの体験を交えた技術士資格取得方法やそのメリットに関する講演を行いました。

また第2部として、参加者が取得希望部門別のセッションに分かれて、部門別相談会が実施されました。

今回は「博士と技術士は車両の両輪」ということをPRし、「1次試験合格後の準会員としての京都大学技術士会への入会」も呼びかけ、従来以上の手応えを感じることができました。またオンラインでしたが、参加された皆様からも高評価をいただき、説明会を無事終えることができました。



高橋教授による開会挨拶

第32回 幹事会

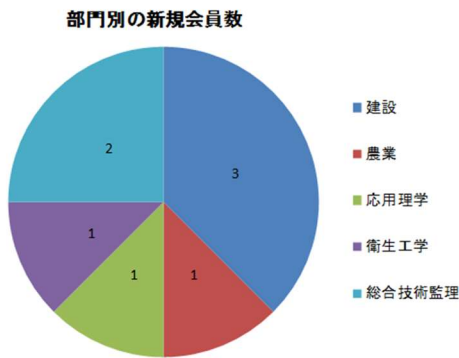
2021年3月20日に第32回幹事会が開催されました。

各種行事に関する企画・検討、実施後の報告等が行われました。

会員状況

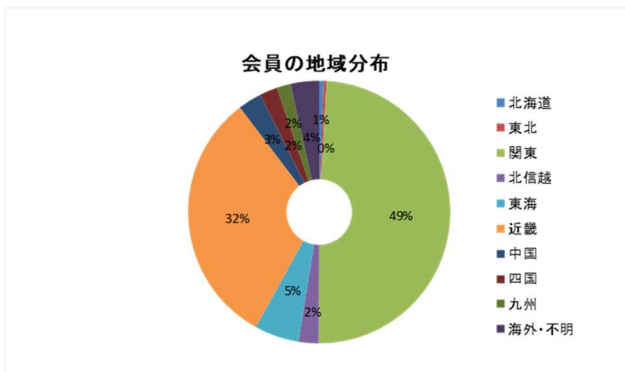
1. 会員数

2021年4月末時点での会員数は764名です。会報8号発行時(2020年9月)より8名増加しました。増加した8名の技術部門内訳は下記の通りです。



2. 会員の地域分布

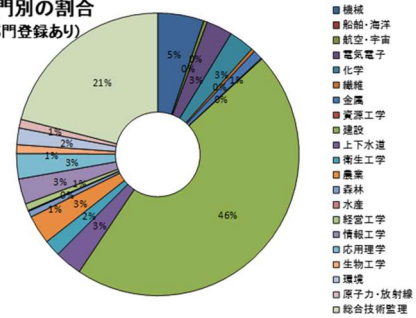
関東が49%、近畿が32%となっています。



3. 登録技術部門の割合

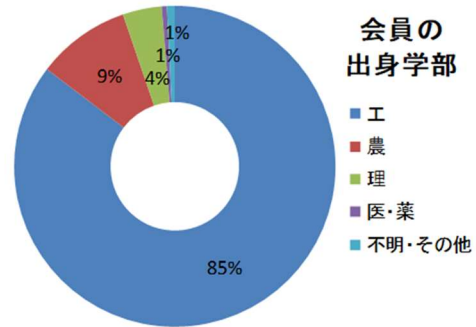
建設が46%、機械が5%です。他の20部門に加えて取得される総合技術監理は21%です。

登録部門別の割合
(複数部門登録あり)



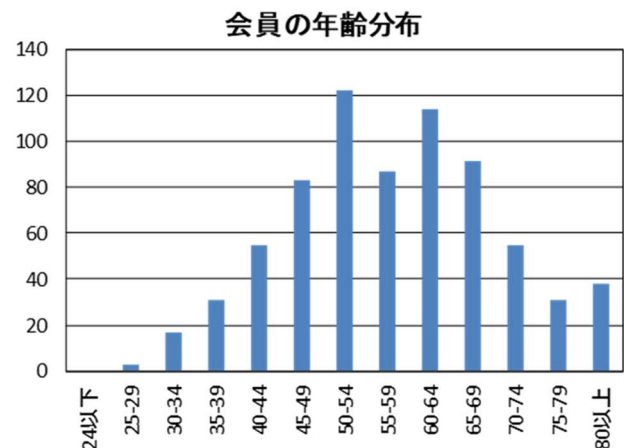
4. 卒業学部の割合

工学部が85%、農学部が9%、理学部が4%です。なお、工学部内では土木系が半分を占めています。



5. 年齢分布

会員データの大学卒業年から類推した年齢分布を示します。40~60歳台の会員が多数を占めています。



今後の行事予定 (6/1~12/31)

- ・2021/未定 第13回 講演会 (イブニングセミナー) 18:00~@東京 (web 併用)
- ・2021/09/11 (土) 第35回 幹事会 9:00~11:00 (web 併用)
- ・2021/11/06 (土) ※京大ホームカミングデイ
詳しい日程・内容等は、確定次第ホームページ等に掲載しますのでご覧ください。



幹事の紹介①

自己紹介



宮嶋 直樹


京都大学工学研究科に勤務しております宮嶋直樹です。技術部門は応用理学部門です。大学に勤めていますと技術士の資格が必要な業務は見当たらないように感じていましたが、公益を追求する課題に取り組むという点では大学に求められていることと技術士の立場はとてもなじむ事だと考えています。大学の業務と技術士会の活動の両方を通じて研鑽を続けていきます。近年は大学内部にも技術士の立場の理解が広がり始め、大学職員で技術士試験を受験する人も少しずつ増えてきました。

また日本技術士会近畿本部では応用理学部会の幹事長もやっております。

京都大学技術士会の関西地区幹事で今年度より新設された副代表幹事補佐を拝命いたしました。幹事団のサポート体制をより充実してまいります。まだまだ未熟者でございますが、京都大学と技術士会の双方に貢献できますよう努めてまいりますので、どうかご指導ご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

(京都大学工学研究科在職、応用理学部門)

幹事の紹介②



幹事就任のご挨拶

中井 範一



この度、京都大学技術士会の幹事を務めさせて頂くことになりました中井範一です。私は、現在、京都大学の施設系技術職員として、キャンパスの施設整備に携わっています。

技術士は、昨年に衛生工学部門を取得しました。京都大学技術士会の存在は、以前（3年前になりますでしょうか）、「技術士を目指そう」説明会に参加させて頂いた際に知りました。その時は、皆様方から励ましのお言葉を頂き、モチベーションアップとなったのを覚えています。今年4月23日にオンラインで開催された第21回説明会では、早速、「技術士による体験談」の発表をさせて頂きました。今後、当会の活動を通じて少しでも皆様方のお力になれば嬉しく思います。どうぞよろしくお願いいたします。

（技術士部門；衛生工学部門、所属：京都大学施設部管理課）



幹事の紹介③



自己紹介

辻浩樹



1994年に工学部土木工学科を卒業、1996年に工学研究科環境地球工学専攻を修了しました。

新卒時に青木建設に入社しましたが、2004年に大成建設に転職しました。両社通じて作業所勤務に23年携わっておりましたが、2019年9月に営業部に異動し、現在は民間営業を担当しております。

技術士は、作業所勤務時代に建設部門（施工計画、施工設備及び積算）を取得いたしました。「建設一般」に苦戦し続け、国土交通白書を読み込んで、何とか合格を勝ち取ることができました。

京大技術士会では、如何程お役に立てるか甚だ疑問ではございますが、他社、異業種の方々との交流を通じて、自己研鑽していく所存です。

（平6工卒、平8工修、建設部門、大成建設（株））



「会員紹介」の原稿募集

本紙に掲載する会員の皆様の自己紹介を募集します。掲載ご希望の方は、下記の内容を下記の会報担当アドレスまでお寄せください。

《自己紹介 執筆要領》

- ① 標題（概ね 10 文字以内）
- ② 内容（技術士として、京大との関わりなど、ご自由に 300 文字程度）
- ③ 最終行【】内に【卒業（修了）年、学部（研究科）、技術部門、所属】を記入
- ④ 顔写真（JPEG形式）

《会報担当アドレス》

office@ku-pe.net

会員の皆様へのお願い

京都大学技術士会は、入会金や年会費はなく、行事毎の必要費用を参加費として負担いただいています。そこで次のお願いがあります。

1. 入会・登録情報変更方法

京都大学技術士会ホームページの専用フォームから必要な情報をお送りください。

<http://ku-pe.net/>

最近、登録いただいているアドレスにメールが届かない事例が多くなっております。メールアドレスが変更になった方は、事務局までお知らせいただきますようお願いいたします。

2. 京大卒の技術士さんに入会をお勧め下さい

京大卒の技術士さんをご存じでしたら、ぜひ入会をお勧めくださるようお願いいたします。

3. 講演会などの行事にも参加をお勧めください

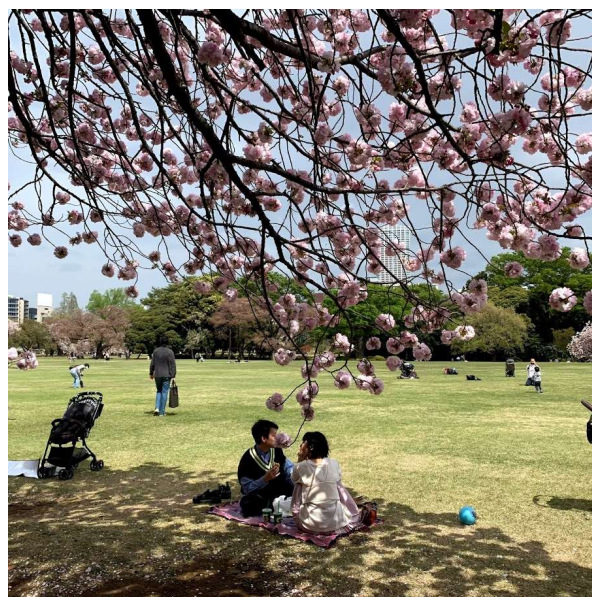
現在のところ、会員以外の方も講演会に参加できるようにしています。同僚の方や同窓の方などに、開催通知を転送していただければ幸いです。

4. ご提案、ご意見お待ちしております

イベントのご提案や、改善すべき点などのご意見は、ホームページの専用フォームからお願いします。

編集後記

今年の4月、新宿御苑まで花見に出かけました。敷地いっぱいに季節の花が咲いていて、手持ちのiPhoneでたくさん写真を撮りました。みんな思い思いの場所でシートを広げて、桜の下でお弁当を食べながら、楽しく会話していました。日常を忘れさせてくれる特別な空間のように感じました。



人との交流が出来る则人生の広がりを感じます。そんな自由が制限される状況下では、よりそのことを強く感じます。この1年でWEB会議やWebinarを数多く経験することになりましたが、やはり直接の面談や展示会で人と話す内容の方がはるかに充実していると実感します。

ワクチン接種が急ピッチで進められています。早く多くの方が抗体を獲得して、日常を取り戻すことを願わずにいられません。

この京都大学技術士会も縁あって一緒になった人たちの集まりです。なるべく多くの交流が生まれるよう、広報としての役目を果たしたいと思ひます。今後とも本会の活動にご協力賜りますようお願い申し上げます。